

# 福祉ネットNEWS

NO. 39 '18. 12. 1

議員控室：0797-77-2114

きよし福祉ネット

〒665-0816 宝塚市平井2丁目15-1

Tel&fax：0797-82-3500

e-mail：kiyoshinet35@yahoo.co.jp

井上きよしオフィシャルホームページ

井上きよし 検索

早くも、年末の声を聞く時期となりました。皆様お変わりなくお過ごしでしょうか。

さて、前回お知らせした市民福祉金廃止条例案は、市議会で可決されました。条例可決時の附帯決議に「影響を受ける対象者の生活及び所得についての実態調査を実施するとともに、特に低所得者については、必要な対策を講じていくこと。また、市は、本委員会での議論を尊重し、自立支援協議会等において協議を行うとともに、対策を講じていくこと」と記しましたが、未だに実施されていません。福祉基金についても具体的な計画や目標もないままです。それどころか市は障害者サービスの縮小を図っており、既に権利侵害を受けている利用者が出ています。

宝塚市は「市民の力が輝く、共生のまち」であると市ホームページのトップにも謳っております。市民の力を存分に発揮し、生きる喜びを感じられ、このまちで良かったと思えるような施策をとっていかねばなりません。私ももうひと頑張りいたしますので、引き続き皆様のご協力、ご支援をよろしくお願いいたします。

## 障害者の社会参加を阻む対応が続出!!

宝塚市では今障害者福祉制度の切り捨てが拡大しております。

私のところにある相談がありました。全身性の障害のある方が、「ホッチャ(障害者スポーツ)の試合に出場するための往復の移動支援は認めるが、試合中の時間分は支給出来ない。運営側が介助者を確保すべき」と利用の受付を却下されました。大会中もトイレ介助、移動、体位変換、食事介助など身体介護は絶対に必要です。そのことを計画相談事業所やサービス提供事業所が、申請者の状況などを含めて説明しましたが、一切受け付けられませんでした。一般質問でとりあげた事例については、大学の授業での交流活動は大学が費用負担すべきとしてサービス提供を認めないため、今も授業に参加できない状態です。市は平成29年3月の厚生労働省障害保健福祉主幹課長会議通知を根拠に、同年9月重い障害のある障害者児の個別のニーズや状況などを考慮せず、一律の基準としました。一方、国の主幹課長会議は、支給決定事務における留意事項として、①支給決定基準(市ガイドライン)を定める②支給決定基準は支給量の上限でないことに留意すること③個々の事情を踏まえて適切に行うこと(市非定型ケース)④障害者児が地域で自立した生活を営むことができるよう適切な支給量を決定することを求めています。しかしその項目をまったく無視し、サービス利用縮小は留まりません。そこで私は再三障害福祉課に説明と改善を求めましたが、未だ状況は変わりません。

このような状況が続くのなら、当事者の訴えを直接届ける行動に出るしかありません。随時状況をお知らせいたしますので、ご協力をよろしくお願いいたします。また、実例を少しでも多く集めたいと思っております。サービス利用の縮小を言われた方がおられましたら、私にご連絡下さい(上記メールアドレスにて)。

# 議会報告

2018年9月議会一般質問 9月27日

## 【質問1】 〈障害者差別解消に向けての取り組み〉

①対応ガイドラインについて。宝塚市職員対要領別冊に記載されている通りに行われているのか。運用への課題は。合理的配慮に関する事例などの報告はあったのか。

(答) 現時点では市役所内からの相談案件はなし。今後も対応の徹底に努める。

②宝塚市障害者差別解消に関する条例に基づく調整委員会では差別事案の解決のために必要な助言やあっせんをしたのか。支援地域協議会はなぜ年1回ずつしか開催しないのか。

(答) 現在申し立てはなし。今後も対応できるよう努力する。支援地域協議会では協議会委員の選定や協議事項の課題に対する調整のため1回のみ開催となった。今後は具体的な差別解消のための啓発の取り組みなどについて協議を進めたい。合理的配慮事例の報告はなかった。

## 【質問2】 〈障害福祉サービスと生活支援への課題〉

①大学内での移動支援が認められずサービスが打ち切れ、学生との交流授業への参加ができなくなった女性がいる。障害者の社会参加や障害者への理解を得る機会だったのになぜ打ち切ったのか。

(答) 授業に参加中は、大学側の合理的配慮ではないかと判断。当事者の社会参加への支援は重要と考える。大学関係者から聞き取りを行い、授業時間を含めたサービス費の支給について検討していく。

②18歳未満居宅介護の支給決定の内容について。児童が居宅介護を利用時、保護者在宅が必要との通知を出した理由は何か。

(答) 通知文は相談事業所が利用者への説明時に利用できるように、厚生労働省の支給基準等を改めて説明したもの。今後も利用者の希望や家族の状況を伺いながら適正なサービス利用について理解いただくようにしていきたい。個人ニーズに則して配慮していく。

③重度障害者のグループホーム設置が遅れている。設置基準について説明を。

(答) 3類型(介護サービス包括型、外部サービス利用型、日中サービス支援型)のグループホームは障害の種別によって設置基準は異なる。

## 【質問3】 〈障害者のスポーツ活動・文化活動〉

①スポーツ活動の現状は。

(答) 毎年キャピリンピックを開催。伊丹市と協定を結び、伊丹市障害福祉センターのプールが使用できるようになった。障害者スポーツ教室も開催。今後も指導者の養成に取り組みたい。施設新設は財政状況から困難。民間での新設予定があるので協議を進めていく。

②文化活動の現状は。

(答) 障害者が利用しやすいように、各文化施設ホール内の席の確保や誘導窓口での筆談対応、舞台へのスロープ設置等に取り組んでいる。



## 視察レポート

障害児者親の会、障害者団体役員と共に、障害福祉先進地の視察をして参りました。

### ★地域共生館「ふれぼの」(西宮市)(7月23日)

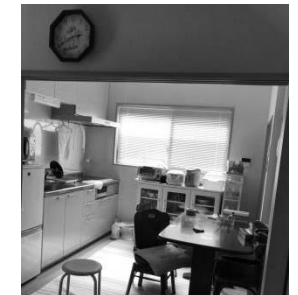
大通りに面した新しい建物の、西宮市社会福祉協議会地域共生館「ふれぼの」に見学に行きました。玄関をはいってすぐには「地域カフェ」。一般介護予防事業として、利用者がカフェの当番や、創作活動、ガーデニングなどを行っているそうです。奥には重度障害のある人の生活新拠点「青葉園分所」があります。2階のフリースペースには地域の子どもたちが集まって宿題や遊びに夢中です。夏休みに入ったばかりのこの日も、多くの子どもたちが来ていました。青葉園の利用者と日中長く過ごすうちに、お互いの名前を覚えたり、ガーデニングの水やり当番を一緒にやるようになったそうです。学校のある期間の日中は、親子連れが訪れて、交流をふかめているそうです。地域での「ともに暮らす」が当たり前になりそこに風景に、驚きとうらやましさを感じました。3階は生活体験施設。重度障害のある人が自立のための練習をする施設です。民間のアパートのような設備が整っています。ここで訓練を重ねて、一人暮らしをしている方が何人もおられるそうです。障害のある人を軸に、地域の方誰もが「居場所」と「役割」を持つことができる「共生のまちづくり」のモデル拠点。関係者が工夫を重ねて多くの制度やサービスを利用してできた施設です。宝塚市でも参考にできる事例がたくさんあるのではないのでしょうか。



玄関



地域カフェ(座りモデルは同行した父母の会会長)



生活体験施設の一角

### ★社会福祉法人 にかわ苑 (富山県入善町)(8月3日)

障害のある人たちにも、高齢化の波は押し寄せてきおり、親亡き後の生活の場所や福祉サービスの提供のあり方が問われています。現行制度では、65歳になると障害者福祉サービス事業者から介護保険事業者に切り替わります。そこで両方の制度を利用できる施設や、日中過ごせるグループホームの設置が必要になってきます。先進地富山の地域共生型福祉推進特区により設置された、認知症と高齢者と障害者が共に暮らすグループホームでは、2階に障害者、1階に高齢者が利用するグループホームがあります。理事長からの説明では、必要に迫られてとのこと。今年度から共生型類型として、障害福祉制度の指定を受けた事業所介護保険の指定が受けられるようになったそうです。親子で入所しておられる方も。日中デイの機能もあり、楽しそうにくつろぐ利用者の姿が印象的でした。宝塚市でも、早期の設置が望まれます。



視察団(宝塚市障害者(児)団体連絡協議会)とグループホーム玄関前で

## ◎宝塚市障害福祉講演会が開催されました

2018年10月30日、宝塚市障害者(児)団体連絡協議会と宝塚市の共催で「宝塚市障害福祉講演会」が、市役所大会議室にて開催されました。

講師には兵庫県健康福祉部障害福祉課副課長の上月浩氏をお迎えし、大きく変わった障害福祉関係の法律についてスライド画面を使いながら、わかりやすく説明していただきました。

直前でのお知らせで、来場していただけるのかと心配しましたが、障害福祉関係者、障害当事者、障害者を家族に持つ方など90名の方が参加されました(配布資料が足りなくて、2回も増刷しました。最初から資料がなかった方にはご迷惑をおかけしました)。

約90分の講演の後は、質問タイム。出席した方々にお配りした質問用紙に記入していただき、それに上月氏が答えました。多かったのは、障害福祉サービスと介護保険とのかかわりや、介護に携わる人材確保など、現場に直接かかわりのある質問でした。

講演後のアンケートも「わかりやすかった」と答えた方が多く、皆さん充実した時間を過ごせたものと安心しました。

皆さんのご意見を参考にして、これからもこのような講演会・研修会を継続できればと思っています。



## お知らせ

### 宝塚オープンボッチャ大会 出場者募集!!

今年の1月、大いに盛り上がったボッチャ大会。来年もあります！  
申込み、お待ちしております。(2018年12月20日〆切。先着順)

日時：2019年1月20日(日) 9:45~16:00

場所：宝塚市立スポーツセンター メインアリーナ

※3人1組の団体戦(1チームは交代を含め5人まで)

※個人参加、大歓迎(主催者側でチームを作ります)

申込み用紙を希望の方は、宝塚市教育委員会スポーツ振興課まで

(Tel: 0797-77-9117 Fax: 0797-71-1891)

体験会も  
あるよ

